

新城市・北設楽郡地域公共交通利便増進実施計画(概要)

- 新城市・北設楽郡の各町村では、過疎化・少子高齢化の進む中、住民の通院・通学・買い物などの移動手段が確保された、安心して住み続けられる地域とするため多核連携型の交通ネットワークの形成を目指している。
- これらに対処するため、地域間幹線系統の再編、自家用有償旅客運送の導入、運賃体系の見直しなど持続的な移動手段の確保と、利便性向上による利用促進を図る。

事業の内容

①田口新城線の集約・再編

路線が重複する四谷千枚田新城線との統合、市街地や工業団地・住宅団地への乗り入れ、設楽町役場までの路線延長等による再編。

②海老地区の自家用有償旅客運送導入

四谷千枚田新城線が廃止することによる代替交通を確保。田口新城線に接続しフィーダー系統として位置づけ。

③田口新城線にゾーン制運賃の適用

コミバスとの運賃負担格差があるため、ゾーン制運賃とすることで利用しやすい運賃体系を構築。

④再編と併せて行う事業

バス停等の待合環境整備、田口新城線案内冊子の作成、公共交通を活用したおでかけプランの構築など

事業の効果

- 市街地への利便性向上
- 通院・通学の手段を確保
- 有償旅客運送の区域では目的地近くでの乗降が可能に
- 利用しやすい安価な運賃体系の適用



待合環境整備、情報提供の推進の効果と合わせ、利用者数の増加が期待される。

